

視聴覚教育

NO.297

発行日

15.11.12

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

視聴覚用語

『USB Universal Serial Bus』パソコンのインターフェース規格。機器の接続を自動的に認識する機能や電源を入れたままコネクタを抜き差しできる機能を備える。USB2.0規格が発売され多くの周辺機器が接続可能になった。

放送番組とデジタル教材の融合

NHK学校放送オンライン活用のおすすめ

学習情報部長 丹沢 英喜

コンピュータの発達やネットワークの普及によって、教育の情報化が急速に進んでいる。学校現場においても、最新の機器が取り揃えられ、便利になった一方で、旧来の機器やソフトについては、しだいに利用の回数が少なくなり、メディアセンターや放送室の片隅に追いやられている状況がどこの学校にも少なからずある。

NHKの学校放送番組の利用についても、同じように、一時期の勢いが無いという見方がある。全国的に見ても、視聴率は伸び悩んでいると聞く。学校放送も教育の情報化の中でこのまま衰退をしていくメディアなのだろうか。

私の答えは、ノーである。放送番組は、メッセージ性も強く、多量のデータを包含する極めて良質な学習素材である。むしろ今一度、放送を利用した学習という形態を見直すべきだと考える。

NHKでは近年、放送番組と組み合わせさせた次

のようなデジタル教材の配信と情報の交流をインターネット上で行う機能が設置されている。

- ・ 放送番組そのものをWEBで見られる機能
- ・ 番組で利用した映像ではなく、関連する周辺情報を動画で見られる機能
- ・ 教師向けの指導案集やリンク集、子供向けのワークシート、ゲームなどの関連情報を提示する機能
- ・ 学習者の交流の場となる掲示板機能

本校（常磐小学校）でも、一昨年度より、総合的な学習の時間向けの番組「おこめ」とデジタル教材を活用して学習を進めている。現在では、番組と連動したWEB教材の提供は、27番組もあり、掲示板への子供たちの書き込みが、番組そのものを構成している例もある。

学校放送番組とデジタル教材を融合させた学習の取り組みは、今まさにリアルタイムで進められている。各学校においても、ぜひチャレンジしてほしい。

放送利用のためのオンライン講座

「チャレンジ放送教育！A to Z」

<http://www.nhkk.or.jp/atoz/index.html>

「視聴覚教育あれこれ」

平成十五年度

全国自作視聴覚教材コンクール結果

平成十五年度全国自作視聴覚教材コンクールの表彰式が十一月六日（木）に、第七回視聴覚教育総合全国大会（山口市）で行われ、岡崎市自作教材制作委員会の制作した三作品が入賞し、表彰された。全国入賞は、昭和六十三年以降、十五年連続であり、岡崎市自作教材ビデオの質の高さを物語っている。

入賞作品は次のとおりである。

- 優秀賞（中学校の部）
- 『二七市 市を支える人々』 中3 社会
- 入選（小学校の部）
- 『養鶏農家の努力 安くておいしい 玉子を作るために』 小5 社会
- 入選（中学校の部）
- 『岡崎にも海があった 縄文海進』 中1 理科

なお、視聴覚教育総合全国大会の第12分科会「全国自作視聴覚教材コンクール発表会」では、審査員の常葉学園大学講師吉田弘毅氏より、「地域の特色や伝統に関わる作品が多く出品されていたが、これからも、関わる人たちの熱いメッセージをしっかりと映像化してほしい。」との指導があった。

これら自作ビデオは、ビデオコンテンツとしてOKネットの中に登録されている。今年度も情報教育特別委員会の映像ネットワーク班の努力で、これらの自作ビデオが登録されていく予定である。ぜひ利用されたい。

実践報告

校内LANの有効利用

岡崎市立藤川小学校

本校では、昨年度、ノートパソコン36台や無線LANアクセスポイントなどが入り、全教室のLAN化と職員室サーバー及び全校サーバーが設置された。それらを有効的に活用するために、今年度は学校独自で取り組みをしている。

教員間の連絡をエデュコムマネージャーやメールを使い、ペーパーレス化を進め、職員室サーバーの活用によるデータの保管や職員間のデータの共有で作業の効率化を進めている。教室でのパソコン利用

も便利になったが、準備する時間を節約するために、職員室の一角に棚を設け常に充電し、いつでも持ち出せるようにした。さらに、無線アクセスポイントを全校で12台常設し、学校の敷地内であればどこでもサーバーとつないだり、インターネットを利用したりできるようにした。



サーバーを通して、健康観察の報告をしたり学習ソフトを読み出したり、児童の作品を活用したりしている。また、LANを活用した独自ソフトも製作している。今後も更なる活用を模索したい。

「レッツ・トライ」

KAWAII「スコアメーカー」を使って

パソコンがあつて助かつたと思うことがみなさんにも何度かあると思う。今まで、自分が一番助かつたと感じたのが今回紹介するソフトを使った時だった。

私は、ピアノが弾けない。それどころか楽譜を見ても、どんな曲か分からない。音楽の授業というと指導書付属のCDを使って授業をしていた。CDは確かに便利なのだが、歌わせたいと思った小節から音を出すことは至難の業だった。ピアノが弾ける先生をうらやましく思っていた。そんな時、ある先生からこのカワイ「スコアメーカー」というソフトを紹介してもらった。

このソフトはスキャナーで取り込んだ楽譜を認識して、すぐに音楽のデータに変換する。楽譜に自動的に小節番号がつき、番号を入れれば、そこから弾くことが可能だ。歌の旋律と伴奏が楽譜になつておれば、伴奏だけ音を出すと、旋律だけ音を出すことも簡単にできる。私にこのソフトを紹介してくれた先生は、合奏のフルスコア譜を入力して合奏の練習にも使っていた。パソコンで音楽を奏でることが出来るソフトは他にもたくさんあるが、このソフトの良いところは、なんとと言ってもスキャナーを使つて一発で入力完了ということだ。多少、誤認識があつて手間取ることもあるが、簡単な楽譜であれば十五分もあれば入力できる。私のように音楽が苦手な人には是非お勧めしたいソフトだ。

(常磐東小 情報主任 山口秀樹)

ライブライブラリーだよ

視聴覚ライブラリーホームページ

視聴覚ライブラリーのホームページをリニューアルしました。ご活用ください。内容は次の通りです。

- ・施設案内・利用案内
- ・ライブライリー概況
- ・ライブライリーだよ
- ・講習会情報
- ・自作教材制作活動
- ・教材・機器リスト
- ・メディアコンクール
- ・教育放送・出版物
- ・親子映画会・リンク

教材・機器リストには、ライブライリー所有の教材機材がすべて掲載してあります。ブラウザソフトの持つ検索機能を使つていただいて、効率的に教材機材を探すことが可能です。



[http://www.city.okazaki.aichi.jp/oavi/brary_home_page.html]

OKリンクトップページまたは市役所ホームページ内「市役所ガイド」 「視聴覚ライブラリー」から入つてご覧ください。

新規購入機材の紹介

7型ワイド高画質TF T液晶ディスプレイ付ポータブルDVDプレーヤー(パイオニア社製)を2台購入しました。携帯性とともに、市販DVDやCDの再生のほか、DVDレコーダーで録画編集したDVD RWディスクの再生ができます。またTVチューナーも搭載されています。

